ELECOM

ドライブレコーダー LVR-DR230Fシリーズ

本体操作ガイド



このたびは、ドライブレコーダー LVR-DR230Fシリーズをお買い 上げいただき、誠にありがとうございます。

最初に「スタートアップガイド(設置ガイド)」をお読みの上、取り 付け、電源の接続など、設置を行ってください。

「本体操作ガイド」(本書)には、本製品で記録された映像の再生や、 各種の設定変更、microSDカードのフォーマットなどの使用方法 が記載されています。

目次

安全上のご注意(必ずお守りください)				
その他の注意事項				
(そ	ි ග{	他、こんなことにも注意してください。)	··· 5	
使月	刊上	このご注意	6	
ELI	EC/	AMについて	8	
SD	カ-	ードのファイル構成について	10	
1	基	本操作	11	
	1.	録画について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 11	
	2.		·13	
	3.	記録された映像を再生する	·14	
	4.	音声録音をON/OFFする ·······	·16	
	5.	音声案内をON/OFFする	·17	
	6.	セキュリティLEDをON/OFFする	·18	
2	設		19	
	1.	カメラの明るさを変更する	·19	
	2.	日付および時間を変更する	·21	
	3.	システム設定を変更する	·24	
		遮断電圧設定 ····································	·24	
		スクリーンセーブ時間設定	·26	
		高温遮断設定	·27	
			·29	
	4.	録画に関する設定を変更する	·31	
			•31	
		録音ボリューム設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•33	
		動体検知設定	•34	
		衝撃センサー設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•36	
		衝撃センサー(駐車中)設定	•37	
3	X	シテナンス・その他	39	
	1.		•39	
	2.	保存領域を変更する	·41	
	3.	タッチパネルを補正する	·44	
	4.	microSDカードを初期化する(フォーマット)	·46	
	5.	本製品の設定を工場出荷状態に戻す(初期化)	·48	
4	困	ったときは	50	
5	그-	ーザーサポート・・・・・	53	
6	製	品仕禄	54	

安全上のご注意(必ずお守りください)

■本製品を正しく安全に使用するために

- ・この「安全上のご注意」は製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。ご使用の前には必ず記載された注意事項をよくお読みになり記載事項にしたがって正しくお使いください。
- ・ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の方への危害、
 財産の損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、
 必ずお守りください。



この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重 傷を負う危険性または重大な物的損害が発生する 可能性」があります。

- ●自動車を運転中は操作しないでください。 運転者による運転中の操作は大変危険ですので、絶対に行わ ないでください。本製品の操作は、必ず車が停止した状態で、 周囲の安全を確認してから行ってください。
 - ●取り付けは、運転に支障のない場所(ブレーキ操作や、ハンド ル操作の妨げにならない場所)に接続してください。
 - エアバッグの近くに取り付けたり配線をしないでください。 緊急時にエアバッグの動作を妨げたり、エアバッグによって 製品が飛ばされ、ケガや事故の原因となる恐れがあります。
 - ●microSDカードの差込口やその他コネクタに異物を入れないでください。 火災、感電の原因となります。
- ●万一、本製品から異臭や煙が出たときは、直ちに使用を中止し、電源を切りシガーチャージャーをアクセサリーンケットから抜いてください。

●分解しないでください。 本書の指示にしたがって行う、作業を除いては、自分で修理や 改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因にな ります。



この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う 可能性または物的損害が発生する可能性」があり ます。



濡れた手で扱ったり水気の多い場所での使用/保管は行わないでください。

●運転中に製品の設定、操作をしないでください。 また運転中は録画状態を確認するために製品を注視したり、 わき見したりしないでください。

)取り付けは確実に行ってください。 正しく取り付けがされていないと、製品が脱落し、ケガする恐 れがあります。 また、取り付けの際、ケガをしないように、スタートアップガイ ドにしたがい、慎重に行ってください。 日本国以外では使用しないでください。 エレコム株式会社は、日本以外の国でのご購入、ご使用による 問い合わせ、サポート対応は致しかねます。 また日本語以外の言語でのサポートは致しかねます。 日本以外でご購入されたお客様は、購入国の販売店舗へお問 い合わせください。 商品交換は保証規定に沿って対応いたしますが、日本以外か らの商品交換は対応致しかねます。)本製品内部に液体が入ると、故障、火災、感電の原因になり ます。)本体は精密機器のため、極端に大きな衝撃や振動の加わる場 所、強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などでの

● アクセサリーソケットの形状をご確認ください。 外国産車や一部の国産車では、本製品とアクセサリーソケッ トの形状が適合しない場合がありますので、ご注意ください。

使用・保管は避けてください。

その他の注意事項(その他、こんなことにも注意してください。)

- ●アクセサリーソケット付近に段差などあり、本製品を十分に 差し込めない場合、市販の分配/延長ソケットをお買い求め ください。
- ●車種によっては、キーを抜いても、アクセサリーンケットから 電源が供給され、バッテリー上がりの原因となる場合があり ます。ご使用の車がこのタイプの場合、車から離れる際は、 必ず本製品をアクセサリーンケットから取り外して置いてくだ さい。
- ●本製品が汚れたときは、水または中性洗剤を少量含ませた 柔らかい布で、拭いてください。ベンジンやシンナーを使用 すると変形、変色の原因となります。
- アクセサリーンケット内のごみや汚れは、本製品の動作不安 定や故障の原因となります。汚れを取り除いてから使用してく ださい。

使用上のご注意

- ●本製品を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随 的損害について、弊社は一切その責任を負いません。また本製品を使 用して記録した映像は、事故などのトラブルに対して、裁判などでの証 拠能力を保証するものではありません。
- ●本製品により収録された映像は、事故内容を確認するための参考としてのみご利用ください。

(裁判、紛争の和解、保険請求などに使用する場合は、お客様のご判断 と費用のご負担になります。なお、映像の証拠能力が保証されている ものではなく、証拠として採用されるかどうかは各関係機関の判断と なり、また必ずしもお客様にとって有利な証拠になる保証はありませ ん。)

- ●本製品は、車両の運行、本製品の設置、事故時の衝撃検知などの各条件により、映像の記録を保証するものではありません。また、上書き記録されることによりデータが保護されない場合があります。 映像の記録については、「11録画について」(→11ページ)を参照してください。
- ●本製品の使用によって生じたmicroSDカード上の保存されたデータの破損、車両、および人身、その他事故に関わる損害について、弊社は 一切責任を負いません。
- ●製品の動作を確かめるために、急ブレーキなどの危険運転はおやめく ださい。
- ●LEDタイプの信号機の場合は映像がちらついたり、色の識別がむずか しい場合があります。
- ●本製品は車両の走行状態、事故時の状況を記録するための機器です。 その他の目的に使用しないでください。
- ●本製品の使用方法、および本製品で記録した映像、音声のデータの使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシー等の権利を侵害する場合があります。本製品およびその記録データの使用については、法令にしたがって、十分にご注意ください。 また、本製品を取り付ける際、道路運送車両法等法規にしたがって正し

く取り付けてください。(「スタートアップガイド」を参照してください。)

●本製品は国内での使用を想定して設計されています。

- GPSの位置情報の取得スピードは、天候やフロントガラスに貼られた フィルムなどの影響を受けます。
- ●ウィンドウフィルムに含まれる金属がGPSの位置情報取得に影響を与 えます。
- ●安定してご使用いただくために、microSDカードは1~2週間をめどに 一度フォーマットすることをお勧めします。
- ●microSDカードは消耗品です。(各メーカーにより製品寿命は異なります。)

ご使用状況により寿命は短くなりますので、定期的に新品に交換することをお勧めします。

●microSDカードの消耗に起因する故障や損害等については、弊社は 一切の責任を負いません。

ELECAMについて

LVR-DR230Fシリーズは、内蔵されたGセンサーやGPSに よって、事故時の状況や日常の運転の様子などを、映像や位 置情報として保存し記録できます。LVR-DR230Fシリーズを 活用しますと、事故処理でのトラブルの低減は安全運転やエ コドライブへの意識向上に役立てることができます。

本体の液晶ディスプレイで保存した映像を確認できますが、 LVR-DR230Fシリーズには、Windowsパソコンで記録した 映像や情報を確認したり、保存したりするための再生専用プ レーヤー[ELECAM]が付属しています。

再生専用プレーヤー「ELECAM」の特長は、次のとおりです。

特長

- ・LVR-DR230Fシリーズで撮影された高画質(1920×1080) の動画を再生できます。
- ・走行中の記録映像と音声、走行中の車の位置を示すマップ、
 走行時のGセンサーの値の情報を同時に再生できます。
- 記録する映像に関して、画質や衝撃センサーの感度などさまざまな設定ができます。
- ・撮影した映像記録は、microSDカードをパソコンに接続して再生専用プレーヤー「ELECAM」で確認できます。
- ・「ELECAM」では、記録ファイルを種類ごとに表示、記録時間 を本機のGセンサーに衝撃が加わった時点での動作状況の 分析、確認ができます。
- ・映像の再生は、早送り、コマ送りができます。例えば事故の 映像などは前後の映像を早送りで、瞬間の映像をコマ送り にして確認することができます。

- ・記録された映像を、切り取りたい箇所で静止画(JPEG)ファ イルに変換して保存することができます。その他にも、衝撃 センサーの値やGPS情報(テキスト)も保存することができ ます。
- ・本商品のマイクで車内の音声も映像に合わせて録音でき、 車内での会話や緊急時の音声を記録することができます。

SDカードのファイル構成について

microSDカードには、下記のようなファイル構成で映像ファ イルおよび設定ファイル、ユーザー情報ファイルなどが保存さ れます。

※ドライブレコーダー再生専用プレーヤー「ELECAM」で、映像ファイルや設定 ファイルを選択するときは、下記を参考にしてください。

microSD カード	
inf0_XXXX_YYYYMMMDD	_hhmmss_l.avi・・・・・・常時録画の映像ファイル
evt0_XXXX_YYYYMMMDI	D_hhmmss_l.avi・・・・・イベント録画の映像ファイル
evt0_XXXX_YYYYMMMDI	D_hhmmss_P.avi・・・・・イベント録画 (駐車モード時) の 映像ファイル
moe0_XXXX_YYYYMMME	DD_hhmmss_P.avi・・・・・動体検知録画の映像ファイル
: 	ミファイル 「設定が保存されています。
system_info.bin・・・・・ シフ	ステムファイル
user_info.txt・・・・・・ユー ELE	-ザー情報ファイル CAMで設定したユーザー情報が保存されています。

※XXXX:連番、YYMMDD:西暦の年月日の数字、hhmmss:時分秒の数字を表わします。



1 録画について

本製品の電源を入れた後、約30秒で録画が開始されます。録 画開始時には、音声案内が聞こえ、状態ランプ(STATE)が赤 点滅します。

録画には、「常時録画」と「イベント録画」、「動体検知録画」の3 つのカテゴリーがあり、それぞれの領域に保存されます。

・常時録画:

電源を入れた後、自動的に録画されます。

・イベント録画:

本体内部のGセンサーが衝撃を検知した場合、前後の記録 をイベント録画として別に保存します。

動体検知録画:

専用電源直結ケーブルを使用時に、アクセサリー電源(エン ジンキーと連動してオン/オフする電源)をオフにすると、 約10秒後に駐車モードになります。駐車モード中に、車の 正面3mの範囲で大きな動きを検知すると動体検知録画 として別に保存します。



・電源投入直後は、内蔵スーパーキャパシタが充電されていま せん。

十分に充電されていない状態で電源がオフされた場合は、 再生できないファイルが生成される可能性があります。

■録画時間について

録画時間は、装着するmicroSDカードの「メモリ容量」と録画 設定の「画質設定」(→31ページ)で、下表のように変わります。 使用状況に合わせて設定してください。

また、カテゴリー別保存領域の割合を変更することもできま す。(→41ページ「2」保存領域を変更する」)

メモリ	」容量		16GB			32GB	
カテゴリー		イベント	動体検知	常時	イベント	動体検知	常時
保存領域の割合		30%	20%	50%	30%	20%	50%
画質	最高画質	53分	35分	95分	108分	72分	194分
	高画質	53分	35分	117分	108分	72分	237分
	一般画質	53分	35分	150分	108分	72分	305分

※フレームレート: 30fps/音声録音: ON時

お知らせ

・保存容量が不足した場合、最も古い録画ファイルから自動的 に削除されます。

■録画方式

録画方法 電源入力時、自動で起動し常時録画方式で開始します。				
録画モード	走行モードと駐車モード*があります。			
録画方式	イベント録画、動体検知録画、常時録画の3種類に分けて保存され ます。			

※専用電源直結ケーブルを使用時に、アクセサリー電源(エンジンキーと連動して オン/オフする電源)をオフすると、約10秒後に駐車モードになります。

お知らせ

 ・駐車モード時は、液晶ディスプレイのスクリーンセーブ時間の 設定(30秒/60秒/なし)に関係なく、30秒後にスクリーン セーブ(液晶表示オフ)になります。
 ・駐車モード時は、衝撃センサー感度は常時録画モード(走行中)

・駐車モート時は、衝撃センリー感度は常時録画モート(定行中 の録画)より敏感になります。衝撃センサー感度を変更できま す。(→36ページ「衝撃センサー設定」、→37ページ「衝撃セン サー(駐車中)設定)



カメラで撮影されている現在の映像を確認します。

1 初期画面および各設定画面の[LIVE]を タップします。

※初期画面の表示のしかたは、下記の「初期画面を表示するには」を参照 してください。





3 記録された映像を再生する

記録された映像を再生します。

1

初期画面の[再生リスト]をタップします。

※初期画面の表示のしかたは、「初期画面を表示するには」(→13ページ) を参照してください。



2

再生する映像のカテゴリー(常時→イベント →動体検知→常時→……)をタップして 選択します。



>/ <、△ / ○ で再生する映像ファイル を選択し、[再生]をタップします。



<再生画面>

画面下部に再生操作のためのアイコンが表示されます。



1	0	再生を中止し、録画を開始します。		
2	Ð	前の画面に戻ります。		
3	F	 フロントカメラ(1ch)表示です。		
4		現在再生中のファイルの、ひとつ前のファイルを再生します。		
E		再生中の映像を一時停止します。		
9		再生を開始します。		
6		現在再生中のファイルの、次のファイルを再生します。		

4 音声録音をON/OFFする

映像と同時に記録されるマイクからの音声を一時的に録音し ないようにします。(ミュートする)



初期画面の[音声録音]をタップします。



	映像と同時に音声が記録されます。	
×	映像のみが記録されます。	

音声案内をON/OFFする

音声案内が流れないようにします。

1

5

初期画面の[音声案内]をタップします。



<\>	音声案内が流れます。
	音声案内は流れません。

6 セキュリティ LEDをON/OFFする

本体前面のセキュリティLEDランプの動作を切り換えます。



初期画面の[セキュリティLED]をタップ します。



ON	セキュリティランプが動作(点灯、または点滅)します。	
OFF	セキュリティランプを消灯します。	

2 設定

1 カメラの明るさを変更する

カメラの明るさを変更します。

1 初期画面の[メニュー]をタップします。

※初期画面の表示のしかたは、「初期画面を表示するには」(→13ページ) を参照してください。





[カメラ設定]をタップします。



⊼/⊻、∧/∨で明るさを設定します。

※明るさは、+5~-5の範囲で設定できます。



- タップすると+5の明るさに なります。
- タップすると- 5の明るさに なります。
- タップするごとに1レベルずつ 明るくなります。
- タップするごとに1レベルずつ 暗くなります。

LIVE映像を見ながら明るさを 調整します。

2 日付および時間を変更する

本製品の日付や時間を変更します。

1

初期画面の[メニュー]をタップします。

※初期画面の表示のしかたは、「初期画面を表示するには」(→13ページ) を参照してください。



2 [日時設定]をタップします。



変更したい「年」/「月」/「日」をタップして 選択し、▲ ▼ で設定します。

※選択した項目は、赤色の文字になります。※時間を変更する場合は、[時間設定]をタップします。

〈例〉2017年11月23日に設定する。



4 日付の設定が終わったら、[日付設定]を タップします。



変更したい「時」/「分」/「秒」をタップして 選択し、△ ○ で設定します。

※選択した項目は、赤色の文字になります。 ※時間は24時間表示です。 ※日付を変更する場合は、[時間設定]をタップします。

〈例〉午後4時11分00秒に設定する。



6 [前の画面]をタップして、日付と時間の変更 内容を保存します。

「変更した時間を適用しますか?」の確認画面が表示されたら、[はい]を タップしてください。

※もう一度やり直したい場合は、「いいえ」をタップしてください。



3 システム設定を変更する

遮断電圧およびスクリーンセーブ、高温遮断、再生ボリューム などの設定を変更します。

遮断電圧設定

※本設定は、専用直結ケーブルにて取り付けていただいて いる製品に限り、有効な設定です。

駐車モード時に車両バッテリーの過放電を遮断する電圧を 設定します。

設定電圧よりバッテリー電圧が低くなると、本製品への電源 供給を遮断して、過放電を未然に防ぎます。

※車種、季節や車両(バッテリー)の老化状況に応じて遮断電 圧を設定してください。

1 初期画面の[メニュー]をタップします。







3 [遮断電圧]をタップして設定します。



OFF	遮断機能をOFFに設定します。
11.8V(23.7)	遮断電圧を5段階に設定します。 11.4V(23.1)/11.6V(23.4)/11.8V(23.7)/12.0V(24.0)/ 12.2V(24.3) ※()内の数値は、24V車の遮断電圧を示します。

お知らせ

- ・駐車モード時以外では、本機能は動作しません。 ・設定した遮断電圧の値を下回っても、本製品への電源供給
 - がすぐに遮断されるわけではありません。(約5分~5分30秒 感知した後に電源供給を遮断します)

スクリーンセーブ時間設定

ー定の時間何も操作を行わなかった場合に、液晶ディスプレ イ表示をオフにするスクリーンセーブモードを設定します。

スクリーンセーブ(液晶表示オフ)になるまでの時間(30秒/ 60秒/なし)を設定します。

※スクリーンセーブにて液晶表示はオフになっていますが、録画 が止まるわけではありません。

1 初期画面の[メニュー]をタップします。

※初期画面の表示のしかたは、「初期画面を表示するには」(→13ページ) を参照してください。



2 [システム設定]をタップします。







高温遮断設定

※本設定は、専用直結ケーブルにて取り付けていただいて いる製品に限り、有効な設定です。

駐車モード時に、車内が高温になったときに、本製品への電源 供給を遮断して故障を未然に防ぎます。

1 初期画面の[メニュー]をタップします。







3 [高温遮断]をタップして設定します。



ON	高温遮断機能をONに設定します。	
OFF	高温遮断機能をOFFに設定します。	

お知らせ

・駐車モード時以外では、本機能は動作しません。

再生ボリューム設定

再生時のスピーカー音量を設定します。

1 初期画面の[メニュー]をタップします。

※初期画面の表示のしかたは、「初期画面を表示するには」(→13ページ) を参照してください。



2 [システム設定]をタップします。





LIVE	う 前の画面	11.8V(23.7) 遮断電圧	
	OFF	ON	(()
スクリーンセーブ	TV OUT	高温遮断	再生ボリューム

((再生ボリューム1(小)で再生します。
(再生ボリューム2(中)で再生します。
() 3	再生ボリューム3(大)で再生します。

4 録画に関する設定を変更する

録画に関する設定を変更します。

画質設定

録画する画質を設定します。(初期値:H(高画質)) 画質設定は録画時間に影響しますので、「■録画時間につい て」(→12ページ)を参照して、使用状況に応じた最適な画質を 設定してください。

1 初期画面の[メニュー]をタップします。

※初期画面の表示のしかたは、「初期画面を表示するには」(→13ページ) を参照してください。





[録画設定]をタップします。





3 [画質]をタップして設定します。

LIVE		く 次の画面	
M M 画質	OFF 画質(後方)	> 	Ц Ich Ø@СН

H(最高画質)で録画します。
M(高画質)で録画します。
L(一般画質)で録画します。

録音ボリューム設定

録画時の録音音量を設定します。

1 初期画面の[メニュー]をタップします。

※初期画面の表示のしかたは、「初期画面を表示するには」(→13ページ) を参照してください。



2 [録画設定]をタップします。





[次の画面]をタップします。





[録音ボリューム]をタップして設定します。





動体検知設定

- ※本設定は、専用直結ケーブルにて取り付けていただいている製品に限り、有効な設定です。
- 駐車モード時の動体検知レベルを設定します。

1 初期画面の[メニュー]をタップします。







3 [次の画面]をタップします。



4 [動体検知]をタップして設定します。



×	動体検知機能をキャンセルします。
¹ .ټلا مې ⁵ .ټل	使用環境に応じて、動体検知レベルを1(敏感)から5(鈍感)の5段階 で設定します。

衝撃センサー設定

走行時の衝撃センサーの感知レベルを設定します。

1 初期画面の[メニュー]をタップします。

※初期画面の表示のしかたは、「初期画面を表示するには」(→13ページ) を参照してください。



2 [録画設定]をタップします。





[次の画面]をタップします。









衝撃センサー(駐車中)設定

※本設定は、専用直結ケーブルにて取り付けていただいて いる製品に限り、有効な設定です。

駐車中(駐車モード時)の衝撃センサーの感知レベルを設定し ます。

1 初期画面の[メニュー]をタップします。







3 [次の画面]をタップします。



4

[衝撃センサー(駐車中)]をタップして設定 します。



H. Co	駐車中(駐車モード時)の衝撃センサー機能をキャンセルします。
[™] → ⁵	駐車環境に応じて、駐車中(駐車モード時)の衝撃センサーの感知レ ベルを1(敏感)から5(鈍感)の5段階で設定します。





製品情報を確認します。

1 初期画面の[メニュー]をタップします。

※初期画面の表示のしかたは、「初期画面を表示するには」(→13ページ) を参照してください。



2 [その他]をタップします。



3

各種の情報が表示されます。 ※ [はい]をタップして、終了してください。



<製品情報画面>

Model Elecom (rev. 1.1.xxxx) Build-date: Dec19 20XX G-SENSOR: X:-0.XX Y:0.YY Z:-0.ZZ Temperature: 56.12 C 15.48V[1132.31], NOFSatellites = 0 Time: 20XX/02/02 18:03:30

はい

2 保存領域を変更する

microSDカードの映像の保存領域の割合を変更します。 保存領域を変更できるカテゴリーは「イベント」と「動体検知」 で、残りの保存領域が「常時」に割り当てられます。それぞれの カテゴリーの保存領域は10%以下には設定できません。

最大録画時間は、装着するmicroSDカードの「メモリ容量」と 録画設定の「画質設定」(→31ページ)で決まります。下表を参 考に使用状況に応じてカテゴリー別の割合を変えることによ り、効率良くメモリーを活用できます。

メモリ	ノ容量	16GB		32GB			
カテコ	ゴリー	イベント	動体検知	常時	イベント	動体検知	常時
保存領	領域の割合	30%	20%	50%	30%	20%	50%
	最高画質	53分	35分	95分	108分	72分	194分
画質	高画質	53分	35分	117分	108分	72分	237分
	一般画質	53分	35分	150分	108分	72分	305分

※フレームレート: 30fps/音声録音: ON時

お知らせ

・専用直結ケーブルで取り付けした製品以外は「駐車モード」に なりません。 そのため、「動体検知」の保存領域を使用しないため、最低の 割合(10%)に設定してください。



・保存領域を変更しますと、microSDカードを初期化(フォー マット)しますので、変更の際は予め必要なデータのバックアッ プを行ってください。

初期画面の[メニュー]をタップします。

※初期画面の表示のしかたは、「初期画面を表示するには」(→13ページ) を参照してください。



2 [その他]をタップします。



3 [保存領域]をタップします。

カテゴリー別の保存領域の割合が表示されます。



「イベント」または「動体検知」をタップして、 選択します。

※選択したカテゴリーの数値が赤色になります。





4

🔨 🔽 をタップして、割合を変更します。

※選択したカテゴリーの増減に応じて、「常時」の割合が増減します。 ※ [前の画面]をタップして、設定を終了してください。



6

確認画面が表示されますので、よろしければ 「はい」をタップしてください。

メモリが初期化され、変更が適用されます。

※microSDカードを初期化(フォーマット)したくない場合は、「いいえ」 をタップしてください。

※microSDカードの初期化(フォーマット)が完了後、録画を開始します。





タッチパネルのタッチ位置を補正します。 タッチしたアイコンと違うアイコンが反応した場合などに補正 します。

1 初期画面の[メニュー]をタップします。

※初期画面の表示のしかたは、「初期画面を表示するには」(→13ページ) を参照してください。





[その他]をタップします。







- 4 「画面をタッチしてください。」と表示された ら、画面をタップします。
- 5 [+]マークが場所を変えて4箇所に表示されますので、順に[+]の交点を正確にタップします。



6

|「設定を保存しますか?」の確認画面が表示 されたら、[はい]をタップします。

※もう一度やり直したい場合は、[いいえ]をタップしてください。



4 microSDカードを初期化する(フォーマット)

本製品で使用するmicroSDカードを初期化(フォーマット)します。

microSDカードを初期化(フォーマット)しますので、予め必要 なデータのバックアップを行ってください。

***** ・安定してご使用いただくため、microSDカードは1~2週間を めどに一度初期化(フォーマット)することをお勧めします。

1 初期画面の[メニュー]をタップします。









[SDカード初期化]をタップします。



4 「全てのファイルが消去されます。継続しますか?」の確認画面が表示されますので、[はい]をタップします。

※microSDカードを初期化(フォーマット)しない場合は、[いいえ]をタッ プしてください。

※microSDカードの初期化(フォーマット)を開始します。終了すると、 録画を開始します。



5 本製品の設定を工場出荷状態に戻す(初期化)

本製品の設定を初期化して、工場出荷状態に戻します。



※初期画面の表示のしかたは、「初期画面を表示するには」(→13ページ) を参照してください。



2 [その他]をタップします。





1

[設定初期化]をタップします。



「設定を初期化します?」の確認画面が表示 されますので、[はい]をタップします。

※設定を初期化しない場合は、[いいえ]をタップしてください。
※設定の初期化を開始します。終了すると再起動しますので、しばらくお 待ちください。



修理を依頼される前に、次の症状・対処方法を確認してください。症状が該当しない、または指示どおりにしても解決できない場合には、弊社のユーザーサポートにお問い合わせください。

Q:電源が入らない/録画が開始されない

- A:以下のステップを確認してください。
 - ・シガープラグとアクセサリーソケットとの接続が正しいか確認してください。
 - ・本製品のDCジャックにシガーチャージャーが正しく 接続されているか確認してください。
 - ・シガープラグ内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は同じ容量(250V2A品:長さ30mm直径6mmのもの)のヒューズと交換してください。
 - ・シガーライターをタバコの点火に多用されている場合は、アクセサリーソケット内部が汚れていないかを 確認してください。2、3度シガープラグを回しながら 入れると改善できる場合があります。
- Q:急ブレーキを急加速のときも、データ保護がされない、 また、すぐに反応してしまう
 - A:「衝撃センサー設定」(→36ページ)で、保護機能の働く 衝撃センサーの値を調整してください。また、状況に合 わせて、この設定を適宜調整することをお勧めします。

- Q:録画が開始されない
 - A:以下のステップを確認してください。
 - ・microSDカードが正しく挿入されているか確認して ください。
 - ・microSDカードに異常がある場合もエラーとなり 録画が開始されません。その場合はmicroSDカード を取り換えてご使用ください。その際は弊社推薦の microSDカードをご使用ください。(推奨カードは弊 社ホームページに掲載)
 - ・microSDカードを初期化(フォーマット)を試してく ださい。(→46ページ[microSDカードを初期化する (フォーマット))
 - ・本製品でmicroSDカードを初期化(フォーマット)しても、不具合が直らない場合は、パソコンでmicroSDカードの初期化(フォーマット)を試みてください。 パソコンで初期化(フォーマット)される際には、SDAssociationにて配信されております「SDカードフォーマッター」のご使用を推奨いたします。 詳しくはSDAssociationのHPをご覧ください。 https://www.sdcard.org/jp/index.html

Q:GPSが受信されない

- A:GPS受信は、地域や場所により、一時的に受信が行われない場合があります。その場合、場所を移動して、 GPS受信が可能な場所で再確認してください。
- Q:シガーチャージャーとアクセサリーソケットの形状が合 わない
 - A:市販のアクセサリーソケットを複数に分配するソケット などを使用して取り付けてください。

困ったときは・・・

Q エレコム 9527 検索

接続や操作などで困ったときは、下記URLまたは右のQRコードのURLへ アクセスしてください。 弊社サポートポータルから、サポート情報を参照することができます。 http://www.elecom.co.jp/rd/elesup/013.html



■製品に関するお問い合わせ

エレコム株式会社は、日本以外の国でのご購入、ご使用による問い 合わせ。サポートは致しかねます。また日本語以外の言語でのサポート は致しかねます。

日本以外でご購入されたお客様は、購入国の販売店舗へお問い合わ せください。

商品交換は保証規定に沿って対応致しますが、日本以外からの商品交換は対応致しかねます。

In "ELECOM CO., LTD. (Japan)", no customer support is available to inquiries about purchases or usage in/from any other countries than Japan.

No foreign languages other than Japanese is also available. A customer who purchases outside Japan will contact for inquiries the local retailer in the country of purchase.

Replacement will be made under stipulation of the Elecom warranty, but not available from outside of Japan.

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアルなどをインターネットで ご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。



お問い合わせの前に、次の内容をご用意ください。

※可能なかぎり、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

53

[・]弊社製品の型番

[・]ご利用の車種

[・]ご諮問内容(症状、やりたいこと、お困りのこと)

6 製品仕様

■本体

電源電圧	DC +12V/24V	
消費電力(12V時)	300mA	
撮像素子	CMOS 200万画素	
画角	対角130°(水平110°/垂直62°)	
画面サイズ	3.5インチ タッチ式パネル式フルカラーTFT液晶	
記録メモリ	推奨:microSDカード Class10(4~32GB) ※microSDカード 16GB(Class10)付属	
記録方式	常時録画+イベント録画	
記録ファイル形式	AVI(H.264)	
記録解像度	1920x1080(1080p)	
フレームレート	30fps	
Gセンサー	○(5段階)	
GPS	0	
音声録音	○(ON / OFF 設定可能)	
外形寸法(幅×奥行×高)	105.0×35.5×74.0mm (突起部除く) ※取付ブラケット装着時:高さ 130mm	
質量	約114g(本体のみ)	
動作温度	0~60°C	
保証期間	1年(消耗品を除く)	
対応OS(PC)	Windows 10.8.1(32/64bit).7(32/64bit)	

生産国 韓	
-------	--

ELECOM © 2017 ELECOM CO,. LTD. All rights reserved.

LVR-DR230F 本体操作ガイド 2017年4月第2版

